



はぐるま

令和元年5月発行

98号

目次

- ・新年度を迎えて —2
- ・協和中央病院 40年のあゆみ —3
- ・新任医師紹介 —4
- ・臨床工学技士紹介 —5
- ・新入職員紹介 —6
- ・茨城県病院協会表彰者 —6
- ・10年勤続表彰者 —6
- ・恒徳会だより —7
- ・外来診察担当医表／編集後記 —8



「よ～し頑張るぞー」



診療部の役割と組織について

新入職員オリエンテーション

～社会人としての第一歩～



看護部の役割と組織について



新入職員セミナー：社会人としての心構え
(常陽産業研究所主催)

まだまだ期待と不安がたくさんあることだと思いますが皆と一緒に乗り越えていきましょう…。

新年度を迎えて

協和中央病院 院長
黒川 徳一



今年度は、外科医師、鹿島先生、高坂先生、菅野先生、泌尿器科医師、和田先生の4名の医師と、看護部、医療技術部と入職していただき新年度を迎えることができました。

また、久野恒一先生が理想の医療と福祉の里を創造しようと、ここ協和の地に病院の礎を築かれてから40年を迎えることができました。お世話になりました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。私たち職員一同、病院創立の理念である“相手の立場に立つ”医療の実践を通して、地域の皆様の健康で安心安全な生活に役立てる病院でありつづけることを目標に、これからも二次救急医療や生活習慣病の治療などに取り組んでまいります。

さて、私たちの身近な地域でも、短期間に急速に高齢化が進みつつあることは皆様実感されていらっしゃると思います。いろいろな病気や怪我を抱えた高齢の方が急速に増えておられ、大きな問題となってきました。加齢から生じる心身の衰えを少しでも予防し、寝たきりにならない（健康寿命を延ばす）ためには何が大事なのでしょうか。

さまざまなお意見があると思いますが、今回は3つのことをお伝えしたいと思います。

一つ目は運動（活動）の重要性です。日常活動における転倒・転落による寝たきり予防のためには、不動を避け、ふだんから運動を習慣化する必要があります。病院でのリハビリを受けた方が、自宅に戻ると運動が続かなくなるというお話を良く耳にします。ご自身の体調に合わせて、無理のない活動をお願いしたいと思います。

二つ目は口腔衛生の大切さです。歯の不健康は実に多くの病気をもたらします。咀嚼困難からくる食物塊の消化不良・栄養障害につながるだけでなく、噛み合わせ不良から頭痛を起こすこともあります。また、認知症が進みやすくなり、口腔内雑菌の繁殖により慢性炎症性疾患、誤嚥性肺炎につながります。嚥下機能の衰えは、重大な窒息事故にもつながるため、歯や咀嚼嚥下機能の健康状態を定期的にチェックする大切さを再認識していただきたいです。

三つ目は多重疾患対策です。加齢とともに高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病や心不全などの多くの病気や腰痛、膝痛などをかかえた方が増えておられます。個々の病気の治療を一律に均一に行うことも必要ではありますが、時には重み付け、優先順位を考えることも必要になると思います。ご自身にとって問題の大きいところは何かを考えていただき、主治医と相談しつつ調和のとれた形で心身の不具合と付き合いながら少しでも元気に生活できるようにしていただきたいです。

最後に、“健康が大切”なことは、小さい子どもでも分かることですが、大人になっても健康的な活動を実践することは大変難しいものです。短時間でも、毎日の健康を意識した活動を続けることで皆様の健康寿命が伸びてゆきますように、私たちにもさまざまな形でお手伝いをさせていただきたいと願っております。

協和中央病院40年のあゆみ

協和中央病院の40年の歴史と歩みを平成最後の時代とともに振り返ります。

昭和
54年

7月

脳神経外科、外科、内科の3科を
標榜し協和中央病院運営開始
(一般許可病床数 48床)



昭和
59年

4月

社会福祉法人恒徳会
身体障害者療護施設[すみれ園]
運営開始
(50床)



昭和
62年

4月

社会福祉法人恒徳会
重度身体障害者授産施設[葦授園]
運営開始
(50床)



昭和
63年

4月

協和南病院
運営開始
(100床)



6月

協和中央病院
リハビリセンター
運営開始



昭和
64年

1月

老人保健施設
[協和ヘルシーセンター]運営開始
(96床、
ショート
ステイ床)



平成
4年

10月

社会福祉法人恒徳会 訪問看護
ステーション[愛美園]運営開始

平成
5年

9月

協和中央病院 看護師寮ニュー
ハイツ完成



平成
9年

4月

社会福祉法人恒徳会 身体障害者
療護施設
[桃香園]
運営開始
(50床)



平成
9年

6月

協和中央病院 新館運営開始
一般病床
70床増設
(一般許可病
床数199床)



医療法人恒貴会
大和クリニック
診療所開設



平成
12年

4月

協和南病院 増床運営開始
(療養型病床群 109床)



居宅介護支援事業所運営開始
通所リハビリテーション運営開始



平成
15年

4月

社会福祉法人恒徳会 新型特別養
護老人ホーム[恒幸園]運営開始
(53床) ショートステイ13床
通所介護サービス35名



平成
16年

11月

訪問看護ステーション[愛美園]を
医療法人恒貴会へ移管

12月

協和中央病院 茨城県地域リハビリ
広域支援センターに指定

平成
17年

4月

協和中央病院 日本医療機能評価
機構(Ver.4.0)認定

7月

協和中央病院 リハビリセンター
棟増改築完成
[総合リハビリテーションA施設]
施設基準取得
職員食堂棟完成



平成
18年

8月

訪問看護ステーション[愛美園]を
大和クリニック
内へ移転・運営



平成
22年

8月

協和中央病院 日本医療機能評価
機構(Ver.6.0)認定 (2回目)

10月

協和ヘルシーセンター リハビリ
棟完成



平成
24年

10月

大和クリニック
改築完成



平成
27年

6月

協和中央病院 日本医療機能評価
機構(3rdG:Ver.1.0)認定(3回目)

平成
28年

2月

協和中央病院 フィリップス社製
Ingenia
3.0TCX-MRI
稼働

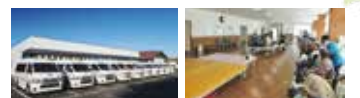


協和南病院増築 (薬局・会議室)
運用開始



5月

協和ヘルシーセンター リハビリ棟
増築運営開始(1日定員100名)



平成
29年

6月

協和中央病院 歯科・口腔外科増築
部分運用開始



平成
30年

9月

協和中央病院 新館3階48床
(地域包括ケア病床34) 新館2階
35床、北1階31床、北2階47床、
南2階38床 計199床運用
(恒貴会 開設病床数 合計408床)



11月

協和中央病院
フィリップス社製
Brilliance
iCT 256 稼働





協和中央病院
外科部長

かしま やすしげ
鹿島 康薫

2019年1月より診療部外科で勤務させていただいております。

私は千葉県木更津市の出身で、1993年弘前大学医学部を卒業し、同時に千葉大学第一外科（現臓器制御外科学）に入局しました。

初期研修として、長野県立須坂病院、国立千葉病院（現国立病院機構千葉医療センター）、安房医師会病院に勤務しました。

1998年千葉大学大学院医学研究科に入学し、細胞分子医学の清野進教授のもと基礎研究を始め、研究テーマは消化管ホルモンであるインクレチン（GLP-1やGIP）によるインスリン分泌調整機構の解明でした。現在糖尿病治療の中心となっているインクレチン関連薬（DPP-4阻害薬やGLP-1アナログ）の開発に関連する基礎研究を行ってまいりました。また大学院在学中多くの共同研究を国内外の研究者と行い、こうした研究、学会活動を通して交流を深め、Nature 誌、Nature Cell Biology 誌や Nature Neuroscience 誌などへの研究発表に関わり、臨床を行う上でも大切な research mind を培う貴重な経験を積み、2002年千葉大学大学院医学研究科を卒業（医学博士）しました。

後期研修として、栃木市のとちの木病院、八日市場市民総合病院（現匝瑳市民病院）に勤務しました。

2004年米国 Pennsylvania 州 Philadelphia にある Fox Chase Cancer Center の Cell and Developmental Biology Program Ken Zaret 研究室で Postdoctoral fellow として再び研究に従事しました。ここでの研究テーマは、肝臓および膵臓の初期発生時の分子機構の解明—特に血管内皮細胞からのシグナルに注目して—でした。Fox Chase Cancer Center は米国の4大がんセンターのひとつと言われ、1927年に設立され、慢性骨髄性白血病の Philadelphia 染色体の発見や B 型肝炎ウイルスの同定など医学の発展に大いに貢献する研究が行われ、ノーベル賞受賞者も多く排出しています。

2007年に帰国後、再びとちの木病院に勤務し、病院の統廃合によりとちぎメディカルセンターとなりました。ここでは消化器固形がんの診断・手術はもちろんのこと、がん患者さんを診断から終末期まで診させていただくために、手術前後の抗がん剤などを用いた薬物療法、周術期から終末期まで継続して治療を支える栄養管理、がん性疼痛に対する麻薬の使用や腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法（CART）などの緩和ケアなどチームオンコロジー（化学療法チーム）、NST（栄養サポートチーム）や緩和ケアチームなどの多職種の関わる医療チームを立ち上げ、がん患者さんの診療に邁進してまいりました。

診療ガイドラインをはじめとしたエビデンス（EBM）に基づく標準治療に加え、患者さんの想い（NBM）に配慮した治療を実践したいと思います。この EBM と NBM はサイエンスとアートの両輪として、おひとりおひとりの患者さんの気持ちに寄り添い真に患者満足度の高い医療の実践には必要不可欠と考えます。

患者さん、ご家族の皆さん、病院スタッフの皆さん、これからよろしくお願ひします。



CART 穿刺前



CART 穿刺後



協和中央病院 外科医長

こうさか まさと
高坂 正登

この度3年振りに協和中央病院外科へ復帰させていただくこととなりました。平成6年に弘前大学を卒業し、前回2006年から約10年間この病院でお世話になりました。10年間の間には大変多くのことを経験させていただきました。この病院は自分にとってはとても働きやすく感じられるのでまたお世話になることになりました。

外科の仕事はチームワークが命であるとの考えは医者になった当初から変わっていません。佐藤先生、鹿島先生、菅野先生、また、病棟、外来スタッフ、病院スタッフと連携して頑張っていきたいと思ひます。皆さんどうかまたよろしくお願ひいたします。



協和中央病院
外科
かんの まさゆき
菅野 真之

2019年4月から協和中央病院に勤務させていただくこととなりました。2011年に旭川医科大学を卒業し、出身県である栃木県の自治医科大学附属病院で初期研修をさせていただきました。同病院消化器外科に入局し、研鑽をつみながら外科診療をさせていただきました。その後在宅診療にも興味をもち、一旦外科から退き地域医療に従事していました。

外科としましては消化器一般、ヘルニア、痔などに対応いたします。また在宅診療の経験も活かし、地域の方にとって身近で思いやりのある医療を提供できるよう努力してまいります。不慣れな部分もあると思いますが、佐藤特別顧問、鹿島外科部長、高坂外科医長のご指導の下、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。私事ですが趣味はフットサルと将棋です。いろいろと気軽にお声をかけてください。どうかよろしくお願いいたします。

泌尿器科



協和中央病院
泌尿器科
わだ いくお
和田 郁生

初めまして。2019年1月より当院に着任した泌尿器科の和田郁生です。

現在は日立市に在住しており、妻、息子一人、甲斐犬1匹と暮らしています。

趣味は映画鑑賞、動画制作(PC)、旅行(犬と一緒に)などです。休日は犬の散歩を担当しています。自宅をリフォームした際キッチンに鉄板焼きを設置し、最近は鉄板焼き料理(ステーキ、お好み焼き、卵焼き、シーフードなど)に精進しています。

生まれは北海道ですが、その後茨城県北茨城市に在住していました。小児の頃から心雑音(心疾患)を北海道の医師より指摘されておりましたが、通常の生活に問題ありませんでした。12歳で精密検査をいわき共立病院で受け、動脈管開存症、肺動脈弁狭窄症と診断されました。手術が必要となり、同院で手術を受け、無事退院できました。このことがきっかけとなり、医師になることを決意しました。

秋田大学に合格し、秋田大学大学院(研究テーマ:自律神経葉が尿管蠕動に及ぼす影響)を卒業後、秋田県内のいくつかの病院で研修しました。その後医局人事で、北茨城市立病院、高萩協同病院などに赴任しました。医局を離れて水戸中央病院、小美玉市医療センターに泌尿器科医として勤務してまいりました。

得意な分野は泌尿器科一般疾患(腎疾患、腫瘍、尿路性器感染症、尿路結石症、女性泌尿器科など)です。泌尿器科手術は現在、腹腔鏡手術や、ロボット手術(ダ・ヴィンチ手術など)が盛んですが、私は内視鏡手術(経尿道的手術など)、開腹手術関連を多く行ってきましたので、前者の手術は経験ありません。泌尿器科に関連して、血液浄化(血液透析、腹膜透析)と麻酔科(旧国立水戸病院で研修し、麻酔科標榜医となりました)領域が得意分野です。

当院に着任して、外来の泌尿器科関連の器具の不足(尿流量測定器など)や、内視鏡の器具(経尿道的手術器具など)が使用できない状態でした。患者さんの増加に期待するとともに、今後それらが充実され、適切な泌尿器科医療ができるよう努力していく所存です。

医療に対する私の基本的立場はPrimum non nocere(まず、害を与えないこと)であり、当院の理念である「患者様の立場に立った医療の提供につとめます」にあっていると思います。この理念に沿って患者さんに寄り添い、当院で一生懸命に努力してゆく所存です。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

臨床工学技士紹介



協和中央病院
手術室看護科
臨床工学技士
はやつ まさゆき
早津 賢之

平成30年10月1日から、臨床工学技士として勤務させていただいております、早津賢之と申します。出身は隣の栃木県真岡市です。

これまで栃木県内のいくつかの病院で、看護師として内科系の病棟や透析での看護業務、臨床工学技士として医療機器の管理や心臓カテーテル検査・治療の補助業務などに従事してまいりました。臨床工学技士とは、医師の指示の下に生命維持管理装置の操作および保守点検を行うことを業とする者をいう、と臨床工学技士法で定義されております。当院に配置している機器では、人工呼吸器と除細動器が生命維持管理装置に該当しますので、これらの機器については、より力を入れて管理に取り組んでいきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



平成31年度 新入職員

平成31年度は、9名の新入職員を迎えました。一日も早く皆さまに顔と名前を覚えていただけるようにがんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



①出身地 ②目標 ③長所 ④尊敬する人 ⑤初任給は何に使いますか？

看護部

看護師



いざわ しゅうへい
伊澤 脩平

- 1 栃木県下野市
- 2 患者さんに安心・安全な看護を提供する
- 3 笑顔・笑声で人と接します
- 4 母
- 5 家族にプレゼントを贈ります

看護師



おくむら
奥村 あゆみ

- 1 桜川市
- 2 優しく、相手の気持ち分かる看護師になる!
- 3 笑顔でいられるところ
- 4 両親
- 5 両親の欲しい物をプレゼントする

看護師



たかなり ちえ
高成 千絵

- 1 筑西市
- 2 相手の立場に立って行動する
- 3 笑顔
- 4 母
- 5 生活費

医療技術部

介護士



たなか なほ
田中 菜穂

- 1 笠間市
- 2 相手の気持ちを考えて行動する
- 3 一生懸命頑張るところ
- 4 母
- 5 家族と食事

介護士



つかだ
塚田 あゆ

- 1 筑西市
- 2 誰からも信頼される人になる
- 3 前向きなところ
- 4 母
- 5 家族にご飯をごちそうする

理学療法士



こばやし ひろたか
小林 大峻

- 1 笠間市
- 2 患者様に寄り添う理学療法を行う
- 3 素直な性格
- 4 両親
- 5 家族と食事に行く

理学療法士



もり ちかこ
森 千伽子

- 1 富山県富山市
- 2 相手の話を真摯に受け止める
- 3 健康
- 4 母
- 5 家族に何かプレゼントする

歯科衛生士



ねもと
根本 くるみ

- 1 石岡市
- 2 相手の立場に立って笑顔で行動する
- 3 明るいところ
- 4 母
- 5 家族と食事に行く

ケアワーカー



はぎわら ゆみ
萩原 侑未

- 1 筑西市
- 2 一緒にいて安心できるような存在になること
- 3 いつも笑顔
- 4 両親・祖母
- 5 家族と食事に行く

社会福祉法人 恒徳会

医療法人 恒貴会

平成31年度 10年勤続表彰者

恒貴会

藤田 聡
川崎 智子
宮山 絵史
三橋 玲子
中倉 由佳利
猪野 亜希子
加藤 美香
針貝 昇平
椎名 友美
林 菜津美
新井 洋美
久保田 まさ代
鈴木 香衣
倉島 侑里
齋藤 めぐみ
廣瀬 智子

協和中央病院
協和中央病院
協和中央病院
協和中央病院
協和中央病院
協和中央病院
協和中央病院
協和中央病院
協和中央病院
協和中央病院
協和中央病院
協和南病院
協和南病院
協和ヘルシーセンター
協和ヘルシーセンター
愛美園

医師 整形外科部長
看護師 エキスパートナース
看護師 看護副主任
看護師 エキスパートナース
准看護師
准看護師
介護士
診療放射線技師
臨床検査技師
事務職
事務職
看護師
介護福祉士
介護福祉士
作業療法士
看護師 看護係長

恒徳会

安達 弘毅
中澤 瞳
瀬島 玲子
吉田 文晴
櫻井 昌子
西野 佳世子
代田 美浩
新井 由紀子

すみれ園
すみれ園
すみれ園
桃香園
桃香園
桃香園
恒幸園
恒幸園

生活支援主任
生活支援員
看護師
生活支援員
生活支援員
生活支援員
ケアワーカー
ケアワーカー

優良職員表彰者

平成30年度 茨城県病院協会

星野 美香子 協和中央病院 准看護師
川田 敏雄 協和中央病院 薬剤科 科長
田中 太志 協和中央病院 主任診療放射線技師
関 弘史 協和中央病院 医療秘書課 副課長
稲見 英章 協和中央病院 人事課 副課長
館野 喜栄 協和南病院 介護福祉士



すみれ園

すみれ園
生活支援員
廣瀬 誠



ナイスハート美術展書道の部受賞

すみれ園では、第1・第3金曜日にボランティアの早瀬先生に、書道のご指導をいただいています。利用者様のペースに合わせ、書き順の分からない時などは手を添えながら、一画一画ゆっくり丁寧に書いています。

昨年の12月にナイスハートふれあいフェスティバル2018が開催され、ナイスハート美術展一般の部に出品し、早瀬先生のご指導のおかげで、3名の利用者様の作品が書道の部にて、茨城県知事賞の「優秀賞」「特別賞」と、「茨城県身体障害者福祉団体連合会会長賞」を受賞することができました。

今後も利用者様個々の目的に合わせて、作品を仕上げた喜びが創作意欲に繋がるよう、また次回の美術展でも受賞できるように支援していきたいと思っております。



桃香園

桃香園
総務課長



メンタルヘルスの取り組み

桃香園では、平成28年より制度化された労働者へのストレスチェックの実施をきっかけに、メンタルヘルスの取り組みを実施しております。労働における事業所の労働安全配慮義務は事業所の責務であり、事業所でのメンタルヘルス・ハラスメント防止対策の取り組みなど、働きやすい職場環境造りが求められております。5月には全職員を対象にセルフケア研修を、12月には役職者を対象に、ラインケア研修を実施しました。セルフケアとは、労働者自身がストレスに気付き、これに対処するための知識・方法で、ラインケアとは、管理職が部下のメンタル不調等の早期発見や相談・対応、職場環境改善の取り組みなどを実施するケアです。福祉の仕事は、対人援助や他職種との連携、不規則な勤務形態など、ストレスを感じることが多い仕事かもしれません。今回の研修で、職員一人一人がストレスとの上手な付き合い方を学んだことで、職員個々のパフォーマンスの向上に繋がればと思います。利用者様・職員双方に選ばれる施設であるために、今後もさまざまな取り組みを実施していきたいと考えます。



堇授園

とんがり工房よりお知らせ



堇授園
職業指導員
市村 真幸

寒さもやわらぎ、日々暖かさが増してきているなか、皆様いかがお過ごしでしょうか。とんがり工房では、職員及び一緒に働いている利用者の方々も元気にパン製造に取り組んでいます。とんがり工房ではさまざまなパンを製造しておりますが、その中から私のおすすめをご紹介します。と思っております。

定番であり、子どもからお年寄りまで人気が高いあんパン。とんがり工房で使用しているあんこは、甘すぎず、さっぱりとした甘さですが、きちんとあんこの風味を感じることができます。そのままはもちろん、温めてもおいしく召し上がれます。

私も大好きな焼きカレーパン。通常のカレーパンと違い、油で揚げることなく、焼き上げているので、ヘルシーです。さらに手で持っても、かぶりついても手や口周りが油でべたつくことがありません。その反面、使用しているカレーが若干ピリ辛のため、辛い物が苦手な方や、お子様には難しいかもしれません。使用されているスパイスの風味がしっかりと感じられるカレーなので、お勧めです。

朝食のイメージが浮かんでくる食パン。とんがり工房で製造している食パンは、バター等は使用していないシンプルなお肉と野菜等を挟んだり、逆にジャムやはちみつ等の甘い物を挟んだり幅広くお楽しみいただけます。

協和中央病院内山崎ショップ入口脇にて、月～金曜日は10:30～12:30、土曜日は10:30～11:30の時間にて販売しておりますが、売り切れ次第終了となります。これを機会にぜひ一度お試しください。

これからも皆様に美味しいパンを提供できるように、とんがり工房一丸となって頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いたします。



食パン 200円



カレーパン 110円

あんぱん 110円

外来診療担当医表 令和元年5月

() 専門科目

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1	中原	中原	中原	中原	中原	
		2	五味	長	黒川	大谷	長	
外科	午前	1	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	第1、2、3、5 菅野	
		2	鹿島	菅野	鹿島	菅野	鹿島	
内科	午前	1	玉野	玉野	玉野	川越	川越	
		2	川越	大内	木村	北原	磯田	
		3	福島	磯田	阿部田	福島	武井	
		5	増山 (循環器)		磯田	阿治部 (消化器)	大内	
		7	曾我部 (呼吸器)	村上 (内分泌内科/糖尿病)	高崎 (呼吸器)	磯田	海老澤 (漢方外来)	
	午後 (予約のみ)	1	阿治部 (消化器)	村上 (内分泌内科/糖尿病)			小笠原 (神経内科)	
		2	鈴木 (循環器内科)					
	●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。							
	専門外来	午後	村田 (睡眠呼吸障害/予約のみ)	加藤 (漢方専門外来)				
		午前・午後 (午後予約のみ)		北川 (循環器)				
心臓血管外科	午前		小久保		小久保			
小児科	午前	中山	長尾	長尾	鷹木	佐藤	自治医大交代制	
	午後	中山	長尾		鷹木	佐藤		
整形外科	午前	藤田		西頭	藤田	萩原	第1、3、4、5 木村	
	午後					第1、2、3、5 西頭		
●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金・土は大学診療のため時間前に受付終了となります。金(第4)・土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。								
痛みの外来	午前			佐藤				
皮膚科	午前・午後		金子			金井		
泌尿器科	午前	和田	別納	和田	神原	和田	鈴木	
	午後	(予約) 和田				和田		
●月曜日の泌尿器科午後は予約のみ、土曜日の受付は10:30までとさせていただきます。								
眼科	午前・午後		高山	高山 午前のみ	新井・横塚 交代制	高山 午後は予約のみ		
歯科 歯科口腔外科	午前 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	大谷津	串田	
		2	杉山	大谷津	大谷津	大谷津	岡田	
		3			杉浦	仙名	土肥	
	午後	1	串田	串田	串田	大谷津	岡田	
		2	杉山	大谷津	杉浦	仙名	土肥	
専門外来	午前	第2、4 神部 第3 野口				第2、4 森		

※受付時間【午前の部】 月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00
 水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00
 歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00
 ※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。
 ※診察の際は、保険証をご提出ください。

【午後の部】 皮膚科・眼科 (13:00~15:30) 診療開始 14:00
 ＊眼科(木) (13:00~15:00) 診療開始 13:30
 内科・泌尿器科 (13:00~16:30) 診療開始 14:00
 整形外科 (13:00~16:00) 診療開始 14:00
 小児科 (14:30~16:30) 診療開始 15:00
 歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

※整形外科からのお知らせ:4月より水曜日(午前)、金曜日(午後 第1、2、3、5)、西頭医師による外来診療を開始しました。

安心が地域に根ざす 医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
 ・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
 ・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
 ・リハビリテーション科・麻酔科・眼科
 ・歯科・歯科口腔外科
 茨城県筑西市門井1676番地1
 電話0296-57-6131(代)
 E-mail:kyowa@kokikai.com



協和南病院

療養病床
 茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133(代)
 E-mail:minami@kokikai.com



協和ヘルシーセンター

介護老人保健施設
 茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030(代)
 E-mail:healthy@kokikai.com



大和クリニック

茨城県茨川市大國玉2513番地12
 電話0296-58-7788(代)
 E-mail:yamato@kokikai.com



訪問看護ステーション

愛美園
 茨城県茨川市大國玉2513番地12
 電話0296-20-6780(代)
 E-mail:aibien@kokikai.com



障害者支援施設 すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125(代)
 E-mail:sumireen@kohtokukai.jp



障害者支援施設 堇授園

茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400(代)
 E-mail:kinjyuen@kohtokukai.jp



障害者支援施設 桃香園

茨城県茨川市大國玉2513番地10
 電話0296-58-7870(代)
 E-mail:tohkaen@kohtokukai.jp



新型特別養護老人ホーム 恒幸園

茨城県筑西市向川澄98番地1
 電話0296-57-7268(代)
 E-mail:koukouen@kohtokukai.jp



編集後記

医は“仁術”旧協和地区に開業して、医療法人恒貴会は40年を迎えます。

『はぐるま』の意味は、創設者・久野恒一先生が信念を持って作った構想の連携であり、協和中央病院が中心で、9施設の特性役割がある。各施設の連携“はぐるま”が上手く噛み合ないと、一連の施設機能は薄れ、病院施設自身の存亡が問われるのではなからうか？

(はぐるま15号より抜粋)と記している。これからも協和中央病院グループが、機械時計のはぐるまのごとく、がっしりと噛み合い未来を刻んでいければと切に想う。98号発行にあたりご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。(堤谷)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

- 発行責任者／中原昇
- 編集委員／相澤明美 飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 杉田恵美子 野村正浩 高松紀平/猪野貴之 廣瀬俊樹